



●ガバナー 沼田 廣 ●会長 吉田 賢治 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 小原 隆平

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2133 回 例会 記録

《ポール・ハリス追悼例会》

2020 年 1 月 23 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1565



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか 米内職業奉仕委員長



《会長要件》 吉田会長



ステージ横に新年互礼会で皆さんと一緒に蕪嶋神社でお参りをした時にいただいたお札や熊手、お守りなどを飾ってあります。今年も一年間楽しく、皆さんと一緒に素晴らしいロータリー活動ができればいいなと思飾らせていただいております、今年もよろしくお願い致します。

今日の例会はポール・ハリス追悼例会です、後程伊藤幹事からお話をいただきますのでよろしくお願い致します。いつもは皆さんと一緒にいろんな行事であったりボランティア活動であったりとそちらの方にかかりっきりになっていますが、今日は普段の活動を含めてロータリー活動を振り返ってみるいい機会になればと思っています。

今日は八戸 RC からビジターの方お 2 人をお迎えしています、後程ローターアクトについてのお話をいただきます、当クラブではインターアクトは八戸高校の生徒さんと一緒に活動していますがローターアクトはやっておりませんので、お話を聞いて協力できることがあればと思っています、よろしくお願い致します。

《委嘱状伝達》 吉田立盛会員



2830 地区 2020-2021 年度 公共イメージ向上委員会委員

《本人誕生日》 高橋会員



年は取りたくないと思っておりますが 85 歳になりました。来年からは逆算していこうと思っております、よろしくお願い致します。

《出席報告》 原会員



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 2 名を含む 21 名。出席率は 64% です。前々回の例会は、新年互礼例会でした。

ます。

《田守会員》



去年は還暦になりましたとお話ししました、ですから+1 です、1 月 3 日に孫が生まれてとうとうババになりました。もうちょっと頑張らなければと思っていますのでよろしくお願い致します。

《配偶者誕生日》



三浦会員



石橋会員



慶徳会員

《結婚記念日》



下田会員



西尾会員

《幹事報告》 伊藤幹事



・来週の例会は 27 日 (月) の南グループ合同新年会に変更しています。6 時 30 分プラザホテルですのでお間違いないように。

・2 月 15 日のよろず相談の相談員、お手伝いできる方へのお願いを FAX します、報告例会の出欠も回していますのでよろしくお願い致します。

願いをいたします。

・よろず相談のポスターチラシができました、周知のご協力をお願いします。広報（はちのへ）にも掲載されています。

・ガバナー事務所よりホノルル国際大会の参加者を把握したいとのお知らせが来ています、直接登録された方がいらっしゃいましたら事務局までお知らせください。

・ガバナー事務所より 2019-20 年度米山奨学生修了証書授与式の案内が届いています、3月1日（日）3時から青森国際ホテルです。

・八戸市環境政策課より環境イベントのお知らせが届いています。

・ザ・ロータリアン英語版が届いています。

《ニコニコボックス》慶徳委員

川村幸雄様（八戸 RC）：ニコニコ

道尻誠助様（八戸 RC）：本日はよろしく
願いをいたします

吉田会長：今日はポール・ハリス追悼
例会です、よろしく願います。

伊藤幹事：田守さん、職場訪問ではお世話になりました。

石橋会員：田守さん、ありがとうございます。

米内会員：田守さん、ありがとうございました。

本人誕生日：高橋会員、田守会員

配偶者誕生日：三浦会員、石橋会員、高橋会員、
慶徳会員

結婚記念日：下田会員、西尾会員



《職業奉仕委員会》米内委員長

よろず相談についてのお願いです、相談の受付は2月7日（金）から始まり、相談員の皆様よろしく願います。本日欠席の方には事務局から FAX 致しますのでどうかよろしく願います。皆様にはお渡ししたチラシを使ってなるべく多くの方にお知らせください、よろしく願います。

《ローターアクト年次大会について》道尻誠助様（八戸 RC）

皆さんこんにちは、日頃より大変お世話になっております。今日は貴重な時間をいただきましてありがとうございました。先程吉田会長の方からインターアクトのお話がありましたがローターアクトは18才から30歳までです、次年度からは規定審議会が18歳以上の若人となるということを知りましたが現在は30歳までということで青森県内には5クラブあります。青森、弘前、五所川原、むつ、八戸で南グループは八戸だけですけれどこれから徐々に増やしていきたいところです。

ローターアクトの年次大会を今年は八戸で行うことになりました、日時は2月29日（土）13時より開会致します。テーマは「トラディション（伝承）」ということで机をテーマにして若い人たちが色々



議論したり、年内の活動報告をしたりという賑やかな会です。中々参加される方が少ないものですから、是非皆さんに参加していただきたくてお願いに上がりました。

また、ローターアクトが八戸には6名しかいませんので各クラブから1人でも2人でもいいので会社の若い方など勉強させたいという方がいらっしゃいましたら是非入会させてくださるようお願い方々お邪魔しました、今日は本当にありがとうございました。

《伊藤幹事》



今日はポール・ハリス追悼・ローター理解推進例会になっています、例会の準備をしていて気が付いたことがあります、ローター理解推進月間は2015-16年度に職業奉仕月間に替わったのでローター理解推進という言葉を使わなくなっていたのですが、ポール・ハリスの追悼とローター理解推進を一つの言葉として直近の3年間は表記していました。もちろん1月は職業奉仕月間としてやっており、先週も職業奉仕月間の一環として職場訪問例会を行いました。

ローターの創始者の一人ポール・ハリスは1947年1月27日にお亡くなりになりました。1月27日を含む1週間はポール・ハリス追悼週間となっております。インターネットで「ポール・ハリス追悼例会」と検索したところ八戸南の会報が出てきました。2017年1月27日第2007回例会です。吉田立盛会長年度で当時の長嶺ガバナーに卓話を依頼して、その時にお話ししていただいた内容が詳しく載っていますのでご覧になってください。当クラブのホームページから会報のアーカイブのページでもご覧いただけます。ポール・ハリスに思いをはせるということはローターを考えるとということだと解釈して、今日は My Rotary の中から少しご紹介させていただきます。

My Rotary にアクセスすることによりローターのいろいろな情報を得ることができます、例えば「ローターとは」という項目の「ローターの歴史」をクリックするとこのようなことが書いてあります。「ローターは一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名は、ポール・ハリス。シカゴで弁護士として働いていたハリスが、世界初のロータークラブ（シカゴ・ロータークラブ）を設立したのは、1905年2月23日。さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場を作ることが、ハリスの夢でした。設立以来、ローターは徐々に人道的奉仕にも活動を広げ、今ではさまざまな職業や文化を持つローター会員が日々、さまざまな課題を解決するために草の根の活動や国際的な取り組みを行っています。

「ローターが私たちにとって何を意味するにせよ、世界は、その活動成果によってローターを知るのです」（ポール・ハリス）

また「多様性、公平さ、開放性」というところには「ローターは、持続可能な変化を生むために人

びとが手を取り合って行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景を持つ人の貢献をたたえます。」ということが書いてあります。

「ニュース&特集記事」というところをクリックするといろいろな記事が出てきます、例えば「2020-21年度国際ロータリー会長にホルガー・クナーク氏が選ばれる」という記事でホルガー・クナーク氏が RI 会長に選ばれた経緯や経歴が書いてあり、この時の RI 会長指名委員会委員の名簿には日本から小沢一彦元 RI 理事のお名前もありました。源新ガバナ一年度の RI 会長ですのでちょうど今頃、源新エレクトが 2020-21 年度の RI 方針について説明を受けているところだと思います、「2021-22 年度国際ロータリー会長にインドのシェカール・メータ氏が選出される」という記事ではメータ氏のロータリーに対する考え方や経歴が書いてあります。この時の会長指名委員会委員は世界で 17 名しかおりませんがその中に第 1 ゾーンの代表として当クラブの黒田元 RI 理事のお名前がありました。日本からは第 3 ゾーンの代表として渡辺好政元 RI 理事のお名前もありました。

「世界ポリオデー：また一步、大きな前進を遂げる」という記事をご紹介します。「世界ポリオデーの 10 月 24 日、ロータリーとパートナー団体による世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) は、『ポリオのない世界』という究極の目標に向けて、また一步、大きな前進を遂げました。この日、3 型の野生型ポリオウイルス株の根絶が発表されました。この歴史的な発表は、世界ポリオデーにロータリーが世界各地で配信した特別プログラムの中で、世界保健機関 (WHO) のデドロス・アダノム事務局長が行いました。同氏は、3 型ウイルス株による発症が 2012 年 11 月にナイジェリアで検知されて以来報告されておらず、専門家からなる独立委員会が、この種類のウイルス株が世界的に根絶されたことを結論づけたと述べました。2 型ウイルス株は、2015 年にすでに根絶が宣言されています。「これにより、残るは 1 型の野生型ポリオウイルスだけ」とデドロス・アダノム氏は述べ、ポリオフリーの世界実現に向けたこれまでのロータリーの尽力に言及しました。また、自己満足が最大の敵だと指摘し、「最後の一押しのために 2 倍の努力で臨んでいただきたい」と激励のメッセージを寄せました。

『未来の子供たちが”ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます』「今活動をやめれば、ウイルスが再び流行し、年間 20 万人以上が新たに発症するという以前の状態に戻ることになります。(中略) 私たちは最後までやり遂げなければなりません。力を合わせれば、未来の子供たちが”ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます」ロータリーによる今年の世界ポリオデープログラムは、世界各地に合わせた時間帯と言語で、フェイスブックにて配信されました。UNICEF USA とビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなったこのプログラムでは、パラリンピックメダリストのアデ・アデビ

タンさん、スーパーモデルのイザベリ・フォンタナさん、科学教育者のビル・ナイさん、女優のアーチャー・パンジャビさんなども登場しました。またこのプログラムには、インド、パキスタン、ウクライナの子どもたちをポリオから守るために活動しているロータリー会員 3 名を紹介した映像も含まれていました。パキスタンでは、ロータリアンのタヤバ・グルさんが医療従事者のチームと協力し、ポリオワクチンの重要性について母親と子どもへの教育を行っています。インドのヘメンドラ・ベルマさんは、医療従事者とボランティアを通じて、全ての子どもに予防接種することを奨励しています。また、ウクライナのロータリアンであるセルフイ・ザバスキーさんは、子供への予防接種に消極的な人たちに情報を提供するため、ソーシャルメディアや公共イベントを利用したアドボカシーと啓発プログラムを実施しています。これら 3 人のヒーローは、世界中のロータリアンと同じく、献身的にボランティア活動をするその大切さを伝えていきます。ロータリーのフェイスブックで配信された動画では、ポリオ根絶活動の最前線で活動する保険ワーカーの活躍と、この 1 年間における達成にもスポットライトが当てられました。ロータリーの公式日本語フェイスブックでも、日本語字幕付きの映像をご覧ください。

『世界が直面している課題』

これらの成果にもかかわらず、アフガニスタンやパキスタンではポリオの症例が増加しています。地域によってアクセスが困難であること、予防接種を行うボランティアのための安全性が確保されていないこと、人びとの移動が非常に多いことなどが増加の理由になっています。2018 年全体で、これら 2 カ国で報告された野生型ポリオウイルスの症例数は、わずか 33 件でした。しかし、2019 年の現時点で症例数は既に 88 件となっており、専門家は今後さらに増えると予測しています。WHO のポリオ根絶部長であるミシェル・ザフラン氏は、ポリオ根絶活動の中核はシンプルなもの、子どもたちに十分なワクチンを与えることができれば、ウイルスが宿る場所は減り、最終的にウイルスは消滅する、と話します。しかし、現状は複雑で、地域によってはワクチンを受けていない子どもが何千人もいます。「接種を受けていない子どもがいる理由は地域によって異なります。(中略) 治安が悪いためにワクチン投与者が行くのを恐れている地域もあります」と話すザフラン氏。治安のほかにも、インフラや安全な水供給の不足、不備のある活動計画、地域社会からの反発といった要因を指摘します。ザフラン氏はまた、ポリオのさらなる蔓延を防ぐために、保険ワーカーが各地域社会を調べ、子どもが見落とされる要因を突き止め、地域特有の課題を克服するためにカスタマイズされた計画を作成していると話します。このアプローチは、2014 年にポリオ根絶が宣言されたインドで、保険専門家が最後の障壁を乗り越えるために用いた方法と類似しています。「この取り組みを信じ、支援を続けるための自信をなくすべきではありません。希望をもって活動を続けることです」と話すザフラン氏。「世界中で資金を集め、この取り組みに対する支援を政府に要請していく必要があります。(中略)

ゴール地点は見えています。弱気になっている場合ではありません」ポリオが根絶された場合、ポリオは天然痘に続いて、人類が根絶する史上 2 番目の疾病となります。

幼少期にナイジェリアでポリオに感染したポリオサバイバーのアデピタンさんは、ここ 3 年間以上、祖国ナイジェリアで野生型ポリオウイルスによる発症が起きていないことに触れ、これはとてつもない偉業であると称えました。ナイジェリアでのこの画期的な達成により、WHO が定めるアフリカ地域全体が来年、野生型ポリオウイルスのない地域として認定される道が開けました。アデピタンさんは、一昔前は世界中のポリオ症例のほぼ 75% がアフリカで起きていたことに触れ、アフリカ大陸における大きな前進を強調しました。「今日、アフリカに住む 10 億人以上の人たちがポリオのない未来を迎えようとしています。活動はまだ終わっていません。私たちは『ポリオのない世界』という、より大きな勝利に向け努力しています。実現が待ちきれません」科学教育者のビル・ナイさんは、ワクチンに対する人びとの抵抗が世界にもたらす脅威について話しました。「ワクチンに対する逆風が強くなると、予防可能な病気の流行が増えます。はしかだけでなく、ロタウイルスや破傷風、ポリオだってそうです。――ワクチンの科学は確立されており、議論の余地はありません」「GPEI が始まった 1988 年以来、ロータリーとパート

ナー団体は、ポリオワクチンの普及に取り組んできた」とナイさん。30 年前、ポリオは 1 年間に 35 万人の子どもたちに影響を与えていました。その後、世界中で大規模な予防接種キャンペーンが行われ、今日までにポリオ症例数は 99.9% 以上減少しています。ナイさんは「これで予防接種の効果が具体的に示された」と話します。ロータリーは、1985 年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ポリオ根絶のために 20 億ドル以上の寄付を行ってきました。また、ポリオ根絶活動のために年間 5,000 万ドルの寄付金を集める取り組みも行っており、これにビル & メリンダ・ゲイツ財団から 2 倍額の上乗せが加わります。これにより、毎年 1 億 5,000 万ドルを、「ポリオのない世界」という子供たちへの約束を果たすための活動に充てることができます。

という記事です、最後にロータリークラブセントラル、これはクラブがどのような活動を行っているかとかクラブの現状とかが載っているページです、この中のリソースの中のロータリーのビデオというところから 3 つのビデオを紹介します。最初に「日本で良いことをしよう」東日本大震災の後に子どもたちにピアノを送ったお話で、次に「世界で良いことをしよう」ロータリー財団の PR です、最後に「TIWA SAVAGE SA」というタイトルのポリオに関するビデオです。(ビデオ) ポール・ハリスとロータリーに感謝して終わります。